



2020年度

(2021年3月期)

第3四半期

決算報告

NSユニテッド海運株式会社

2021年1月29日

目次

1. 2020年度業績予想ハイライト	…………… p. 2
2. 第3四半期決算の概要	…………… p. 3 - 4
3. 2020年度業績見通し	…………… p. 5
4. 活動状況	…………… p. 6

1.2020年度業績予想ハイライト

【単位：億円】 (連結)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	前回公表値比較
上期（決算）	657	18	8	29	—
下期	693	37	28	13	増収増益
通期	1,350	55	36	42	増収増益

業績の見通し 前回の2020年度通期業績予想より増収増益

- 昨年12月に3隻目が竣工した400,000トン型鉱石専用船（Valemax）をはじめ、当第3四半期までに7隻の新造船が稼働を開始しました。第4四半期には更に中小型船5隻の新造船竣工を予定しておりますが、その大半が長期安定輸送に従事することから当社の収益力は更に強化されます。
- 世界的な鉄鋼需要は、第1四半期の底から回復傾向にあり、中国の堅調な鉄鋼原料需要及び、自動車産業を中心とした製造業の持ち直し、また国内鉄鋼会社の高炉再稼働等を背景に海上輸送需要は想定を上回る回復を見せております。
- この様な状況下、第3四半期の業績改善ならびに第4四半期の海運市況見通し改善により、通期業績見通しは、営業利益55億円（前回予想37億円）、経常利益36億円（前回予想22億円）と前回予想を大きく上回る見込みです。
- これを受け、次年度以降の更なる収益力強化を図るため、一部の船舶につき用船契約満了を待たずに返船すること（期限前返船）などを含めた追加の構造対策を実施いたします。それに伴い今後発生が予想される費用を勘案し、通期業績見通しとして当期純利益は前回予想据え置きとなる42億円を見込んでおります。

配当予想 期末配当予想を一株当たり25円に

- 当社は株主への利益還元を経営上の重要な施策の一つとして位置づけ、2018年度より中間配当を実施。2020年度も一株あたり30円の中間配当を実施いたしました。今般上記の通期業績見通しに基づき、前回未定としておりました期末配当予想を一株当たり25円といたします。

2. 第3四半期決算の概要

【連結】 (単位：億円)	2019年度						2020年度				前年度 同期比
	1Q	2Q	3Q	1Q-3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	1Q-3Q	
売上高	362	357	380	1,100	384	1,484	316	342	359	1,016	▲ 84
営業利益	15	14	29	58	12	70	1	17	25	43	▲ 15
外航部門	14	12	25	50	8	59	0	12	18	30	▲ 20
内航部門	2	2	4	8	4	12	1	5	7	13	+ 5
経常利益	10	9	28	47	8	55	▲ 3	10	22	29	▲ 18
親会社株主に帰属する 当期純利益	12	26	21	58	2	59	21	8	26	55	▲ 3



2.第3四半期決算の概要

外航海運 大型船を中心に第2四半期以降海運市況は持ち直しましたが、第1四半期の市況低迷を補うには至らず、営業損益は前年同期比約20億円の減益となりました。

ドライバルク : 新型コロナウイルス感染症拡大等の影響を受け市況は5月に大きく落ち込みましたが、堅調な中国向け鉄鉱石の輸送需要やブラジル積み等の輸送トンマイルの長い輸送需要が市況を大きく押し上げ、10月初旬には日額3万4千ドルを突破しました。その後は急激な上昇への反動から弱含みましたが、年末から年明けにかけて再び騰勢を強めています。

タンカー : 大型LPGタンカーは、新型コロナウイルス感染症拡大等による景気の減退や原油減産等の影響により一時荷動きが減少しましたが、7月以降需要が回復し、その後も高い水準で市況は推移しました。

なお、感染症拡大の影響による各国の渡航制限等から船員の乗下船に引き続き制約がありますが、最新の状況を踏まえた必要な調査・対応をとり解決を図っております。

内航海運 主に第1四半期に荷動き低迷の影響を大きく受けたものの、第2四半期以降輸送需要が回復し、効率配船やコスト削減といった施策も効果を発揮したことで営業損益は前年同期比約5億円の増益となりました。

ドライバルク : 第1四半期は鋼材需要の減少並びに、粗鋼生産量の大きな減少、加えて各産業の輸送需要減退影響を大きく受け、原料、鋼材、セメント等主力貨物の輸送が低迷しましたが、第2四半期半ば以降は高炉再稼働、各産業での鋼材・原料需要改善に加え、バイオマス燃料輸送他新サービス開始等がコスト削減施策と相俟って効果を発揮し増益に寄与しました。

タンカー : LNG・LPG共に需要が減少し、輸送量は減少しました。

以上により、当第3四半期の連結業績は前年同期比で営業損益では約15億円、経常損益では約18億円、当期純利益では約3億円の減益となりました。

3.2020年度業績見通し

【連結】 (単位：億円)	2019年度 通期 (実績)	2020年度 (前回予想)			2020年度 (今回予想)		
		上期 (決算)	下期 (予想)	通期	上期 (決算)	下期 (予想)	通期
売上高	1,484	657	673	1,330	657	693	1,350
営業利益	70	18	19	37	18	37	55
経常利益	55	8	14	22	8	28	36
親会社株主に帰属する 当期純利益	59	29	13	42	29	13	42

	2019年度 通期	2020年度			2020年度		
		上期実績	下期前提	通期	上期実績	下期見通し	通期
為替	¥109.42	¥107.67	¥105.00	¥106.33	¥107.67	¥104.00	¥105.84
市況 ケープサイズ	\$16,165	\$15,674	\$13,500	\$14,587	\$15,674	\$16,000	\$15,837
パナマックス	\$10,408	\$9,777	\$11,000	\$10,389	\$9,777	\$11,000	\$10,389
ハンディマックス	\$8,172	\$7,348	\$8,000	\$7,674	\$7,348	\$9,000	\$8,174
ハンディ	\$7,559	\$6,374	\$7,000	\$6,687	\$6,374	\$8,500	\$7,437

4.活動状況

船隊整備状況

- ・ 昨年12月のNSU BRAZIL竣工を以って、当社の戦略的船隊整備の象徴の一つであるValemax 3隻すべてが稼働、ブラジル積鉄鉱石の長期安定輸送により、当社の収益を支える大きな柱が完成しました。
- ・ 加えて、10万トンの型撒積船が昨年10月より3隻竣工、全て長期安定輸送に従事し当社収益力の向上に貢献しています。お客様の輸送ニーズに応える船隊の充実により、強化された競争力を発揮してまいります。
- ・ また、当社グループのNSユナイテッド内航海運(株)では、1月に、世界最新鋭の低炭素技術を誇る広野IGCCパワー合同会社殿向け専用船「みらい」が竣工しました。グループ一体となって安定収益の基盤を強化すると共に、エネルギー源の安定供給と低炭素社会実現に貢献してまいります。

1月に竣工した専用船「みらい」



新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症拡大を抑制し安定的に事業を継続すべく、以下の対応を継続しています。

- ・ 本船運航： 運航船が寄港する世界各国・港の最新規制について関係各所と連携して確認し、安全・安定運航を継続しています。
- ・ 船員交代： 交代候補地に於ける船員の出入国規制についての調査や確認を継続し、運航・配船担当チームと緊密に連携しながら交代手配を進め、本船の運航スケジュールへの影響を最小限に留めています。事前のPCR検査やオンライン乗船研修など必要な対応策についても継続し、船員の健康管理や適切な配乗ローテーションの維持に努めています。

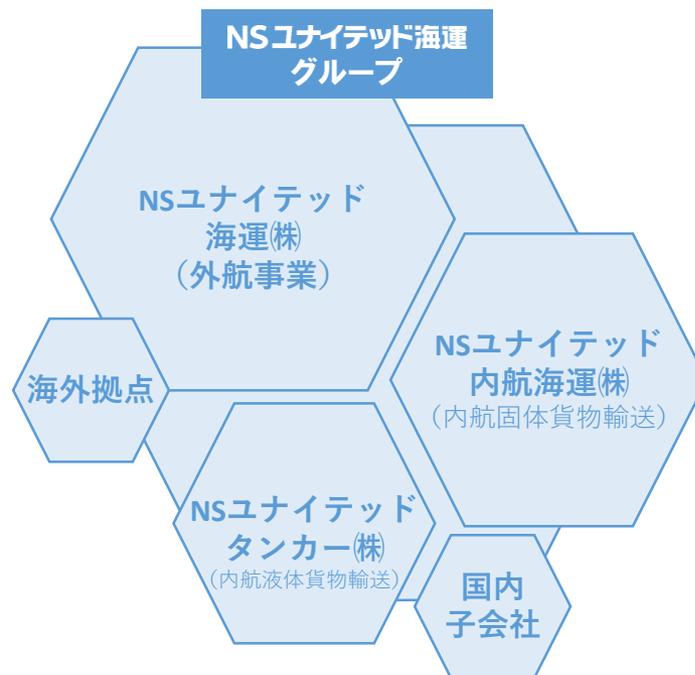
引き続き感染症対策を強化し従業員の安全と健康を守りながら、安全かつ安定した良質な海上輸送サービスを提供できるよう、鋭意取り組んでまいります。

NSユニテッド海運株式会社

NSユニテッド海運グループは、
誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて
社会の発展に貢献します。

(本資料に関する注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。



当社ウェブサイト：<http://www.nsuship.co.jp>

本資料についてのお問い合わせ先：03-6895-6411